



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月3日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社 上場取引所 東
コード番号 5821 URL <https://www.hewtech.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 篠 祐一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星 一昭 TEL 03-3457-1400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	28,545	21.6	3,497	114.2	3,635	66.8	2,935	84.8
2025年3月期第3四半期	23,470	5.0	1,632	23.0	2,179	33.7	1,589	91.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,168百万円 (88.0%) 2025年3月期第3四半期 2,748百万円 (37.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	198.64	—
2025年3月期第3四半期	107.74	—

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	58,152	44,457	74.4
2025年3月期	47,106	38,719	82.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 43,249百万円 2025年3月期 38,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2026年3月期	—	23.00	—		
2026年3月期（予想）				24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。2025年3月期は、当該株式割当前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期については、株式割当後の内容を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	36,500	18.5	4,000	76.4	4,000	56.4	3,300	62.9
								222.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。2026年3月の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式割当の影響を考慮してお

ります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 吉野川電線株式会社、除外 一社、 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	17,627,800株	2025年3月期	17,627,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,822,236株	2025年3月期	2,878,142株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	14,780,378株	2025年3月期3Q	14,749,658株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当てが行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期第3四半期の個別業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,048	4.3	447	92.1	916	31.4	709	29.9
2025年3月期第3四半期	7,718	△7.3	233	△53.5	697	△2.8	546	△2.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	65.79	—
2025年3月期第3四半期	37.04	—

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当てが行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年3月期第3四半期	25,710		16,915		65.8
2025年3月期	21,980		16,380		74.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 16,915百万円 2025年3月期 16,380百万円

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復がみられましたが、米国の通商政策に起因する不透明感が依然として続いております。

海外経済においては、米国では通商政策に伴う不透明感があるものの、緩やかな景気拡大が続いています。欧州でも米国通商政策動向による留意が必要なものの、緩やかな持ち直しの動きがみられます。中国では不動産市場の停滞もあり、景気の減速が見受けられます。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、車載市場においては米国での関税政策の影響による不透明感が続きました。半導体市場については生成AI用途向けを中心に引き続き堅調に推移し、産業機器市場では一部に持ち直しの動きがみられました。

このような環境の下、売上高は285億45百万円（前年同期比21.6%増）となりました。売上高が増加したことにより、営業利益は34億97百万円（同114.2%増）となりました。経常利益は36億35百万円（同66.8%増）となりました。吉野川電線株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたことによる負ののれん発生益が439百万円発生したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億35百万円（同84.8%増）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

車載用ケーブルは新規量産品により売上が堅調に推移しました。エネルギー産業関連ケーブルは北米市場の旺盛な需要等を背景に好調に推移しました。半導体製造装置は復調傾向にあります。医療用ケーブルは新製品が堅調な推移をみせ、産業機器用ケーブルは、7月の吉野川電線株式会社の連結範囲への追加とFA分野の一部回復傾向を受け増加しました。以上により、売上高は247億50百万円（前年同期比23.6%増）となりました。売上の増加等により、セグメント利益は34億75百万円（同117.9%増）となりました。

（電子・医療部品）

電子の分野では、ネットワーク機器において専門用途品の好調な推移に加え、第2四半期までの大型OEM案件により増加しました。医療部品の分野においては、得意先在庫調整の影響もあり売上が減少しました。以上により、売上高は37億75百万円（前年同期比10.2%増）となりました。売上の増加等により、セグメント利益は7億12百万円（同3.9%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ110億46百万円増加し、581億52百万円となりました。主な増加は、吉野川電線株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたこと等により、現金及び預金28億58百万円、受取手形、売掛金及び契約資産23億29百万円、投資その他の資産13億69百万円、原材料及び貯蔵品13億18百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ53億8百万円増加し、136億95百万円となりました。主な増加は、長期借入金21億59百万円、支払手形及び買掛金9億47百万円、短期借入金5億86百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ57億37百万円増加し、444億57百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益29億35百万円、為替換算調整勘定16億69百万円、非支配株主持分が12億8百万円であり、主な減少は、利益剰余金の配当6億63百万円、資本剰余金4億15百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年10月31日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,778	16,636
受取手形、売掛金及び契約資産	7,989	10,318
有価証券	159	94
商品及び製品	2,567	3,385
仕掛品	835	1,542
原材料及び貯蔵品	4,012	5,331
その他	768	819
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	30,099	38,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,740	5,224
機械装置及び運搬具（純額）	6,020	6,680
土地	894	1,368
建設仮勘定	615	538
その他（純額）	719	767
有形固定資産合計	12,989	14,579
無形固定資産	898	967
投資その他の資産	3,118	4,488
固定資産合計	17,006	20,035
資産合計	47,106	58,152

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,695	2,643
短期借入金	1,168	1,754
未払法人税等	206	607
賞与引当金	66	149
その他	1,563	2,125
流動負債合計	4,700	7,280
固定負債		
長期借入金	1,781	3,940
退職給付に係る負債	1,747	1,886
役員退職慰労引当金	58	90
その他	98	496
固定負債合計	3,686	6,414
負債合計	8,386	13,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,412	997
利益剰余金	30,969	33,241
自己株式	△2,340	△1,846
株主資本合計	31,596	33,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040	1,557
為替換算調整勘定	6,070	7,739
退職給付に係る調整累計額	10	3
その他の包括利益累計額合計	7,122	9,301
非支配株主持分	—	1,208
純資産合計	38,719	44,457
負債純資産合計	47,106	58,152

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上高	23,470	28,545
売上原価	18,009	20,976
売上総利益	5,460	7,568
販売費及び一般管理費	3,827	4,071
営業利益	1,632	3,497
営業外収益		
受取利息	187	170
受取配当金	39	65
為替差益	331	—
その他	54	47
営業外収益合計	612	283
営業外費用		
支払利息	26	45
為替差損	—	45
機械装置除却損	17	8
その他	22	45
営業外費用合計	66	145
経常利益	2,179	3,635
特別利益		
負ののれん発生益	—	439
特別利益合計	—	439
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	2,176	4,075
法人税、住民税及び事業税	532	680
法人税等調整額	54	429
法人税等合計	587	1,110
四半期純利益	1,589	2,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,589	2,935

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	1,589	2,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	541
為替換算調整勘定	1,028	1,669
退職給付に係る調整額	6	△7
その他の包括利益合計	1,159	2,203
四半期包括利益	2,748	5,168
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,748	5,114
非支配株主に係る四半期包括利益	—	53

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式702,364株を無償で割当ていたしました。2025年6月27日開催の取締役会に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式57,400株を処分いたしました。

これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は9億97百万円、自己株式は18億46百万円となっております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれん発生益は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,160百万円	1,194百万円
負ののれん発生益	—	△439

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,025	3,425	23,451	19	23,470	—	23,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	8	—	8	△8	—
計	20,034	3,425	23,459	19	23,478	△8	23,470
セグメント利益	1,594	685	2,280	18	2,299	△666	1,632

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6億66百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△6億59百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,750	3,775	28,526	18	28,545	—	28,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	3	—	3	△3	—
計	24,753	3,775	28,529	18	28,548	△3	28,545
セグメント利益	3,475	712	4,187	16	4,204	△707	3,497

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△7億7百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△7億7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結累計期間の電線・加工品セグメントにおいて、吉野川電線株式会社の株式を取得し同社を連結の範囲に含めたことにより負ののれん発生益を4億39百万円計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。また、負ののれん発生益の金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。